

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目				環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										2.7
Q1 室内環境							-		-	-
1 音環境						-	-		-	-
1.1 室内騒音レベル				—		-	-		-	
1.2 遮音						-	-		-	
1				開口部遮音性能		-	-		-	
2				界壁遮音性能		-	-		-	
3				界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-	
4				界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-	
1.3 吸音				—		-	-		-	-
2 温熱環境						-	-		-	-
2.1 室温制御						-	-		-	
1				室温		-	-		-	
2				外皮性能		-	-		-	
3				ゾーン別制御性		-	-		-	
2.2 湿度制御				—		-	-		-	
2.3 空調方式				—		-	-		-	
3 光・視環境						-	-		-	-
3.1 昼光利用						-	-		-	
1				昼光率		-	-		-	
2				方位別開口			-		-	
3				昼光利用設備		-	-		-	
3.2 グレア対策						-	-		-	
1				昼光制御		-	-		-	
3.3 照度				—		-	-		-	-
3.4 照明制御				—		-	-		-	-
4 空気質環境						-	-		-	-
4.1 発生源対策						-	-		-	
1				化学汚染物質		-	-		-	
4.2 換気						-	-		-	
1				換気量		-	-		-	
2				自然換気性能		-	-		-	
3				取り入れ外気への配慮		-	-		-	
4.3 運用管理						-	-		-	-
1				CO ₂ の監視		-	-		-	-
2				喫煙の制御		-	-		-	-
Q2 サービス性能						—	0.43		-	3.5
1 機能性						-	-		-	-
1.1 機能性・使いやすさ						-	-		-	
1				広さ・収納性		-	-		-	
2				高度情報通信設備対応		-	-		-	
3				バリアフリー計画		-	-		-	
1.2 心理性・快適性						-	-		-	
1				広さ感・景観		-	-		-	
2				リフレッシュスペース		-	-		-	
3				内装計画		-	-		-	
1.3 維持管理						-	-		-	-
1				維持管理に配慮した設計		-	-		-	-
2				維持管理用機能の確保		-	-		-	-
2 耐用性・信頼性						3.0	0.50		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50		-	
1				耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2				免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.4	0.30		-	
1				躯体材料の耐用年数		4.0	0.20		-	
2				外壁仕上材の補修必要間隔		2.0	0.20		-	
3				主要内装仕上材の更新必要間隔		3.0	0.10		-	
4				空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-	
5				空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20		-	
6				主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性						2.4	0.20		-	-
1				空調・換気設備		3.0	0.20		-	-
2				給排水・衛生設備		1.0	0.20		-	-
3				電気設備		3.0	0.20		-	-
4				機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	-
5				通信・情報設備		2.0	0.20		-	-

3	対応性・更新性			4.0	0.50	-	-	4.0
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高:3.9m以上。 0.1≦ [壁長さ比率] <0.3 床荷重:9900N/m ²	5.0	0.60		-	
	2	空間の形状・自由さ		4.0	0.40		-	
	3.2 荷重のゆとり			5.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20		-	
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20		-	
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10		-	
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10		-	
	5	設備機器の更新性	—	3.0	0.20		-	
	6	バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.57	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出		—	1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	—	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	—	2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-		-	3.5
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制		—	-	-	-	-	-
2	自然エネルギー利用		—	3.0	0.13	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化		BEIm=0.33、LED 照明設備を導入。	4.6	0.63	-	-	4.6
	集合住宅以外の評価			4.6	1.00	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
4	効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50		-	
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価			-	-		-	
	4.1	モニタリング	—	-	-		-	
	4.2	運用管理体制	—	-	-		-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1	節水	—	3.0	0.40		-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70		-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1	材料使用量の削減	—	2.0	0.11		-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.22		-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.22		-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	1.0	0.22		-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	—	-	-		-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	—	3.0	0.22		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30		-	
	3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
	1	消火剤	—	-	-		-	
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3 の発泡剤を用いた断熱材等を使用している。	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.6
1	地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率70%	4.2	0.33	-	-	4.2
2	地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
	2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25		-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	—	3.0	0.50		-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25		-	
	2	污水处理負荷抑制	—	3.0	0.25		-	
	3	交通負荷抑制	—	3.0	0.25		-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
	1	騒音	—	3.0	1.00		-	
	2	振動	—	-	-		-	
	3	悪臭	—	-	-		-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70		-	
	2	砂塵の抑制	—	-	-		-	
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30		-	
	3.3	光害の抑制		4.4	0.20		-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害対策ガイドラインの項目の過半を満たす。また、広告物照明は行っていない。	5.0	0.70		-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
2.4.1 空調・換気設備	－		○	－	－	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
2.4.3 電気設備	1.0	－	－	－	－	○	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		－	－	○	－	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	2.0		－	－	－	－	－	－	1.0	－	1.0	－	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		－	－	－	－	－	1.0	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		－	1.0	－	1.0	－	－	－	－	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	－		－	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	8.0		1.0	－	2.0	3.0	－	－	－	2.0	－	－			
2.3.3 交通負荷抑制	2.0		－	－	－	1.0	1.0	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	－		－	－	－	－		－	－						
3.2.2 砂塵の抑制	－		－	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η) -						
U値(W/m2K)	窓システム	-	屋根	-	外壁	-	床	-
住戸部分	窓システムU値	-	外皮UA値	-	η AC	-	η AH	-
昼光率	-							
自然換気有効開口面積率	-							

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	－	/人	病床	－	/床	シングル	－	ツイン	－
--------	---	----	----	---	----	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	－	VA/m ²
---------	---	-------------------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	－	m
-----	---	---

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	－	レストスペース	－
------------	---	---------	---

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	※セメント比50%以下	年
--------	-------------	---

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

3.1.1 階高のゆとり

階高	5.95	m
----	------	---

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	11.5%	
-------	-------	--

3.2 荷重のゆとり

床荷重	9900	N/m2
-----	------	------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	18%	建物緑化指数	0%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	58%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	10%	舗装面積率	46%
-----	-----	---------	----	----------	-----	-------	-----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	対象外	断熱等性能等級	対象外	相当
----------------------	-----	---------	-----	----

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	－	MJ/年m ²	採光を満たす教室数	－	採光を満たす住戸数	－
--------------	---	--------------------	-----------	---	-----------	---

通風を満たす教室数	－	通風を満たす住戸数	－
-----------	---	-----------	---

太陽光	－	太陽熱等	－	蓄電池	－
-----	---	------	---	-----	---

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

BEI/BEI _m	再エネ有	0.33	無	0.33	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	------	---	------	-----------	---	---

集合住宅の評価

一次エネ削減率	再エネ有	無				－	
---------	------	---	--	--	--	---	--

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	－						
-------	---	--	--	--	--	--	--

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	－						
------	---	--	--	--	--	--	--

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	－	地球温暖化係数(GWP)	－
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	42%	隣棟間隔指標R _w	2.24
-------	-----	----------------------	------

地表面対策面積率	10.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%
----------	-------	----------	------	----------	------

見付面積S _b	1,056m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	50.45	m	基準高さH _b	49.6	m
--------------------	---------------------	------------------------------	-------	---	--------------------	------	---

緑地	509m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	m ²	再帰性反射対策面	m ²
----	-------------------	----	----------------	--------	----------------	--------	----------------	----------	----------------